

2佐特審第3号  
令和2年12月4日

佐久市長 柳田清二様

佐久市特別職報酬等審議会  
会長 柳澤正文



佐久市議会の議員の議員報酬の額の改定について（答申）

令和元年10月1日付け元佐総第145号で諮問のありましたこのことについて、慎重に審議した結果、当審議会の意見は、別紙のとおりです。

## 答 申

### 1 本文

令和元年10月1日付け元佐総第145号で当審議会に諮問のあった事項については、次のとおりとすることが適当である。

#### (1) 佐久市議会の議員の議員報酬の額

議員報酬の額は、諮問のあった金額のとおりとする

議 長 月額 494,000円 (増額33,000円)

副議長 月額 435,000円 (増額52,000円)

議 員 月額 405,000円 (増額56,000円)

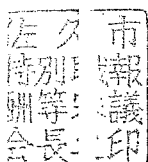
#### (2) 改定の実施時期

改定の実施時期は、令和3年4月の市議会議員の改選以降、新型コロナウイルス感染症の状況及び社会経済情勢を踏まえ、市長が判断すること

### 2 附帯意見

(1) 報酬の増額にあたっては、議会において議員定数の削減を検討されたい

(2) 議員活動が見えないという意見が多く出されたことから、引き続き、議会において議員活動の見える化のための方策を進められたい



### 3 審議経過及び主な委員意見

#### (1) 審議経過

第1回審議会 令和元年10月 1日(火) 市役所議会棟全員協議会室  
審議状況 諮問及び資料の収集・確認等

第2回審議会 令和元年12月23日(月) 市役所議会棟全員協議会室  
審議状況 資料の確認等

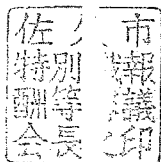
第3回審議会 令和2年 2月10日(月) 市役所議会棟全員協議会室  
審議状況 方向性及び時期の検討等

第4回審議会 令和2年11月17日(火) 市役所議会棟全員協議会室  
審議状況 方向性及び時期の検討等

委員の話し合いにより、採決によって結論(答申)を決定することとし、採決の結果、賛成6名、反対3名であったことから、議員報酬の額を諮問のあった金額のとおり答申することを決定した。引き続き、附帯意見の内容や各委員の主な意見を添付していくことについて決定した。

#### (2) 主な委員意見

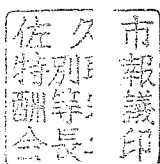
主な委員意見は添付資料のとおり



【添付資料】

各委員から出された主な意見（要旨）は以下のとおりである。

区分	主な意見（要旨）
委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年は台風 19 号、今年はコロナと 2 年連続で災害が起きている。この時期に報酬の増額はタイミングが悪い。</li> <li>・ 一般議員で年間約 93 万円増額する。増額する金額が非常に大きい。人事院勧告による増額とは比較にならない。</li> <li>・ 議員が色々と活動していることもわかるが、こういう時期は増額を見合わせた方が良い。</li> </ul>
委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会の質、議員の質を高めるため、大学生の子がいる 40 歳代ぐらいの方でも政治活動に専念できる環境を整備した方が良い。</li> <li>・ これからの佐久市を引っ張っていくような政治家を育てられるような報酬が良い。</li> <li>・ 諮問のあった金額は妥当である。ただ、今、増額は難しい。増額の時期をいつか決めるのは難しいが、東京オリンピックが終わり、市民生活が安定し、経済活動が正常化した時期に市長判断で上げれば良い。</li> <li>・ あくまで議員定数は議会が決めること。審議会は定数に関して諮問されていないし、言うべきではない。</li> </ul>
委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ より良い人に議員になってもらいたい。</li> <li>・ 若い方が議員になって生活していくためには諮問のあった金額は妥当。時期も来年 4 月の選挙からで良い。そこで若い方が選挙に出られる環境が良い。</li> <li>・ 活動が見えない議員には選挙の洗礼を受けてもらえば良い。</li> </ul>
委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が実施した市民アンケートでは、議員報酬が少ないという意見は多くなかった。</li> <li>・ 議員の生活が成り立たないというが 500 万円で年収が低いというのはおかしい。市民はそんなにもっていない。したがって、報酬を上げることに疑問がある。議員だけでなく、市民も生活費が上がっている。</li> <li>・ 議員が本当に市民のために活動しているのかわからない。議会は、情報発信を進めてほしい。</li> <li>・ 報酬を上げるとしたら、時期はコロナ収束後だと思う。</li> <li>・ 市民の収入状況から、ここまでの金額を上げる必要があるのか疑問である。</li> </ul>



委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い方に議員になってもらいたい。そうでない議員は選挙で洗礼を受けてもらいたい。ただ、それは定数以上の立候補がないと成り立たない。そうするには魅力ある議員報酬が必要だと思う。</li> <li>・諮問どおりの金額が良いが、時期が悪い。</li> </ul>
委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、コロナで状況は一変している。周囲にも、この時期に報酬を上げるのは容認できないとの意見が多い。それが市民感情だと思う。</li> <li>・こういう時期こそ、議員が動いていることをアピールしてほしい。</li> <li>・最終的には議員定数の削減が落としどころ。定数を2人だけではなく、3人でも4人でも減らすことを附帯条項にし、議会に検討してもらえば良い。</li> </ul>
委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに増額する金額は大きい。ただ、他市町村等に比べると元の金額が低いので、上げることは考えていく必要がある。</li> <li>・諮問された時は、経済が安定していた。上げる時期を決断する時は、コロナや社会情勢を考慮し判断してもらいたい。</li> </ul>
委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲には、上げるには今は時期が悪いという意見がある。ただ、現在、議員の定数は26人だが24人で活動できている。定数を2人減らして報酬を上げれば良いという意見には賛同してもらえた。自分は定数を26人から24人に減らして、報酬を上げれば良いという考えである。</li> <li>・上げる時期は、次期の任期からが良い。コロナ収束後としたら判断が難しい。</li> </ul>
委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員の活動が見えない、見える化を進めてほしい、活動イコール報酬だと申し上げてきた。その中でこのところ、議員の活動が変わってきている。審議会で議論したことが良い機会だった。</li> <li>・10年以上、報酬が据え置かれている中で、上げていくチャンスだと思う。</li> <li>・上げる時期は、委員から出された様々な意見を踏まえて、市長が判断してほしい。</li> </ul>

佐久市報議員  
特別等身  
会 長

佐久市特別職報酬等審議会 委員名簿

(委員は五十音順) (敬称略)

区分	氏名	役職等
会長	柳澤 正文	佐久浅間農業協同組合常務理事
委員	安部 和重	公募委員
委員	小池 久己	関東信越税理士会佐久支部理事
委員	小林 勉	長野県社会保険労務士会東信支部副支部長
委員	鷹野 與一	公募委員
委員	高橋 和裕	日本郵政グループ労働組合長野連絡協議会議長
委員	土屋 均	佐久商工会議所監事
委員	中島 瑞枝	元公平委員
委員	丸山 和之	佐久市区長会長
委員	元吉 純子	佐久市男女共生ネットワーク監事

